

住宅火災による高齢者の死者が急増中

～過去10年で最多ペース～



令和6年に入り住宅火災による高齢者の死者が東京消防庁管内で10人(1月15日9時現在、速報値)発生し、昨年と同時期と比べると3人増加しており、過去10年で最多のペースで増加しています。

狛江市内でも火災による死者が発生しました！出火の原因となる状況が無いかどうか確認し、火災予防をお願いします。

1 住宅火災による死者の発生状況及び出火原因について

過去5年において、ストーブを出火原因とする住宅火災による死者は、約9割が12月から3月に発生しています。特に、電気ストーブが出火原因となった火災が約8割を占めます。令和5年中はストーブ火災による死者の9人すべてが、電気ストーブによるものでした。

電気ストーブ火災の約8割は可燃部が接触、落下することにより発生しています。

2 出火防止対策について

近年、死者が発生した住宅火災の主な出火原因は

「たばこ」「ストーブ」「こんろ」「コード」です。

危険な場所を確認し、出火防止対策をとりましょう。

～たばこ火災を防ぐポイント～

- **寝たばこ**は絶対しない。
- **飲酒**しながら喫煙し、**うたた寝**をしないようにする。
- 吸殻を灰皿やごみ箱にためないようにする。
- 吸殻を捨てるときは、必ず**水をかけ完全に消火**する。
- 火種を落とさないよう**安全な場所**で喫煙する。



～ストーブ火災を防ぐポイント～

- 周囲に**燃えやすいものを置かない**。
- **外出時や就寝時は必ず消す**。
- **給油は必ず消してから行う**。
- ストーブの上や近くで**洗濯物を乾かさない**。



～こんろ火災を防ぐポイント～

- 調理中にこんろから**離れない**。
- こんろの周りに**燃えやすいものを置かない**。
- **防災品**のエプロンやアームカバーを使用する。
- 火が鍋底からはみ出さないように**調節**する。
- **安全機能付きのこんろ***を使用する。



* 現在製造されている家庭用ガスこんろは全て全口に調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置、こんろ・グリル漏れ消火機能を有する「SIセンサーこんろ」です。

～電気コード等火災を防ぐポイント～

- 使っていない**プラグは抜いておく**。
- プラグ、コンセントは**定期的に掃除**する。
- 家具などの下敷き、**折れ曲がり**に注意する。
- タップは**決められた容量内**で使用する。
- 束ねて使用しない。



東京消防庁ホームページ 住宅火災
特設ページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-bouanka/house/house fire.html>

